

【2】 地理歴史 の学習について

1 必履修・自由選択科目について

- (1) 必履修科目は「世界史A」、選択必履修科目は「日本史A」「地理A」「日本史B」「地理B」です。
 (2) 自由選択科目は「世界史B」です。

2 履修上の注意点

- (1) 午前部・午後部
 ① 「世界史A」を履修してください。
 ② さらに「日本史A」「地理A」「日本史B」「地理B」の中から1科目の、計2科目を履修してください。
 ③ 必履修・選択必履修を満たしたのちの履修科目は、それぞれ自由選択科目になります。
- (2) 夜間部
 ① 「世界史A」を履修してください。
 ② さらに「日本史A」「地理A」からの1科目の、計2科目を履修してください。
 ③ 必履修・選択必履修を満たしたのちの履修科目は、それぞれ自由選択科目になります。

3 地理歴史の各科目の履修順序

全ての科目において、同時に履修することができます。

4 履修モデル (○必履修 ●選択必履修 ・自由選択)

午前・午後部

1年次	2年次	3・4年次	
	全員	就職	進学
	○世界史 A ●地理 A または日本史 A	・地理 A または日本史 A	・地理 B または日本史 B ・世界史 B

夜間部

1年次	2年次	3・4年次	
	全員	就職	進学
	○世界史 A ●地理 A		・日本史 A

5 地理歴史の教科目標, 履修について

(1) 教科目標

我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民として必要な自覚と資質を養う。

(2) 評価観点及びその趣旨, 方法

ア 観点及び趣旨

関心・意欲・態度	歴史的・地理的事象に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追求するとともに、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。
思考・判断・表現	歴史的・地理的事象から課題を見だし、我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を世界的視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
資料活用 of 技能	歴史的・地理的事象に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。
知識・理解	我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。

イ 評価の方法

観点	項目	達成評価	活動評価
関心・意欲・態度		考查	出席 教師の観察 自己評価
思考・判断・表現		考查	ノート 感想文
観察・実験の技能		考查	ワークシート 課題・宿題
知識・理解		考查	小テスト

(3) 実技・実習等

実施予定はありません。

(4) 留意事項

特にありません。

教科 地理歴史

科 目 名	世界史 A	単位数	2	履修区分	必修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		世界史A（山川）（予定）	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	世界の歴史を、近現代史を中心に学習し、世界が一体化する過程や現代世界の特質・課題を考察します。				
主な学習内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 人類の誕生～15世紀の世界外観</p> <p>② 近代史（主に16～19世紀）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・反映するアジア ・大航海時代を迎えるヨーロッパ ・ヨーロッパとアメリカの諸革命 ・自由主義・国民主義の進展 ・アジア諸国の動揺 ・東アジアの大変動 </div> <div style="width: 45%;"> <p>③ 現代史（おもに20世紀）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代世界のめばえ ・第一次世界大戦 ・“民族自決”と世界 ・第二次世界大戦 ・冷戦と国際社会の変化 ・地球社会の到来 </div> </div>				
備考					

科 目 名	世界史 B	単位数	4	履修区分	自由選択科目
対象の部	午前 午後	使用教科書		高校世界史（山川）（予定）	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	<p>① 世界の歴史の大きな枠組みと時代の流れを、各文化圏、国家の交流を通して、幅広く学習します。</p> <p>② 大学受験を視野に入れた問題演習も取り入れます。</p>				
主な学習内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① オリентと地中海世界</p> <p>② アジア・アメリカの古代文明</p> <p>③ 東アジア・内陸アジア世界の形成</p> <p>④ 内陸アジア世界の動向と諸地域</p> <p>⑤ イスラーム世界の形成と発展</p> <p>⑥ ヨーロッパ世界の形成と発展</p> <p>⑦ 諸地域世界の交流</p> <p>⑧ アジア諸地域の繁栄</p> <p>⑨ 近代ヨーロッパの成立</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>⑩ ヨーロッパ主権国家体制の展開</p> <p>⑪ 欧米における近代社会の成長</p> <p>⑫ アジア諸地域の動揺</p> <p>⑬ 帝国主義とアジアの民族運動</p> <p>⑭ 二つの世界大戦</p> <p>⑮ 冷戦と第三世界</p> <p>⑯ 現代の世界</p> </div> </div>				
備考					

教科 地理歴史

科 目 名	日本史 A	単位数	2	履修区分	選択必履修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		高等学校 日本史A (山川) (予定)	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	日本の歴史を、近現代史を中心に、世界各国との関わりや人々の暮らしなどに着目しながら学習します。				
主な学習内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 旧石器時代～江戸時代中期の概観</p> <p>② 近代史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際環境の変化と幕藩体制の動揺 ・ 明治維新と近代国家の形成 ・ 国際関係の推移と近代産業の成立 ・ 政党政治の展開と大衆文化の形成 ・ 第二次世界大戦と日本 </div> <div style="width: 45%;"> <p>③ 現代史</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 戦後の政治と社会 ・ 経済国家としての発展 ・ 現代の日本と世界 </div> </div>				
備考					

科 目 名	日本史 B	単位数	4	履修区分	選択必履修科目
対象の部	午前 午後	使用教科書		高校日本史 (山川) (予定)	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	<p>① 世界史的な視点から、古代から現代までの日本の歴史を総合的に学びます。</p> <p>① 「日本の文化」について、各文化の特色や背景を各種資料等を使って学習します。</p> <p>② 大学受験を視野に入れた問題演習も取り入れます。</p>				
主な学習内容	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>① 古代社会の形成</p> <p>② 律令国家の形成</p> <p>③ 貴族政治の展開</p> <p>④ 武家社会の形成</p> <p>⑤ 武家社会の成長</p> <p>⑥ 幕藩体制の成立</p> <p>⑦ 幕藩体制の展開</p> <p>⑧ 幕藩体制の動揺</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>⑨ 近代国家の成立</p> <p>⑩ 近代日本とアジア</p> <p>⑪ 現代の世界と日本</p> </div> </div>				
備考					

教科 地理歴史

科 目 名	地理 A	単位数	2	履修区分	選択必履修科目
対象の部	午前 午後 夜間	使用教科書		高等学校 地理 A (帝国) (予定)	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	① 世界の諸地域における人々の生活を学び、世界の地理的認識を養います。 ② 資料・情報の集め方や活用の方法を身につけます。				
主な学習内容	① 地理情報の活用と現代世界の特色 ・身近な地図に親しもう ・球面上の世界と地図 ・グローバル化する現代世界 ・多様化する世界の人々の活動 ・身近な地域の調査 ② 世界の諸地域の地域性 ・生活 ・文化と環境 ・日本と世界 ③ 現代世界の地球的環境 ・地球的課題 ・国際協力				
備考					

科 目 名	地理 B	単位数	4	履修区分	選択必履修科目
対象の部	午前 午後	使用教科書		新詳地理 B (帝国) (予定) 新詳高等地図 (帝国) (予定)	
		使用教材		本校作成プリント	
履修の条件	特になし	教材費等			
特色	① 世界の諸地域の特色を幅広く学習します。 ② 大学受験を視野に入れた問題演習も取り入れます。				
主な学習内容	① 自然と生活 ・自然環境と生活 ・資源と産業 ・生活と文化 ② 世界の諸地域 ・地域を見る方法 ・国家規模の地域の調査 ③ グローバル化する現代社会 ・グローバル化 ・地図でとらえる現代世界 ④ 地球的な課題 ・人口, 食糧問題 ・都市, 居住問題 ・環境, エネルギー問題 ・民族, 領土問題				
備考					